**令和５年度学校評価（年度末評価）**

|  |  |
| --- | --- |
| 本年度の重点目標 | （１）生徒の主体的かつ対話的な学習を推進していくために、保護者及び進路先等の関係者が桃花校舎に期待している生徒像を明確にした上で、必要な支援・指導の在り方を検証していく。（２）学校WEBページ等の活用の仕方について検証し、桃花校舎の取組について積極的な情報発信を行っていく。（３）防災教育の推進を図り、起こりうる大規模震災等の被災時の状況を具体的に想定し、その状況に対応するための実践的な取組を展開する。 |
| 担当部 | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 | 評価結果と課題 | 達成度 |
| 総務部 | ・教育活動に関する情報発信の拡大・充実　　 | ・学校だよりやホームページ、報道機関を活用し、様々な生徒の取組を紹介する。・発信までの手順、役割分担などを整え、各校務と連携して円滑に対応できるようにする。 | ・情報発信の頻度、情報量、適時性について担当者で検討を行う。・学校WEBページの計画を作成し、必要に応じて随時、変更を加える。 | ・学校だよりでは、発行月と内容を見直すことで生徒の取組をこれまで以上に紹介することができた。今後は二次元コードの活用を進めていきたい・学校WEBページの計画を基本としつつ、随時、多くの行事について発信することができた。次年度は利便性を向上するため、システムのリニューアルを予定している。 | 90％ |
| 教務部 | ・目標や課題と主体的に向き合える力を高める指導、支援の推進 | ・生徒同士の対話を深める機会を確保し、自ら考え工夫できる環境をつくるようにする。 | ・コースの時間を中心に生徒同士が具体的に伝え合う場を設定する。・自立活動や職業の授業で個々の活動を発表し合い、意見交換をする。 | ・生徒同士で話し合う活動を増やし、お互いに教えあったり意見をまとめて発表しあったりする場面を多く設定した。どう伝えれば伝わりやすいかを考え、自ら話す内容を工夫することができるようになってきた。 | 80％ |
| ・就労に向けたより実践的な指導・支援の充実　　　　　　  | ・職場で必要とされる力や身に付けたい力などを検討し、職業の学習内容や指導計画などを見直す。 | ・就労に向けて必要な指導内容や項目を精選し、教科間のつながりを検証することで指導内容の見直しを進める。 | ・各学年で就労に向けて必要な力や態度、教科や職業の学習内容に関連する意見を集約し、校内研究で取り上げて全体で共通理解することができた。 | 70％ |
| 生徒指導部 | ・校則の見直しの推進　  | ・生徒・保護者の要望を踏まえて内容を見直し、生徒が自己判断できる項目を増やして社会性を高められるようにする。 | ・生徒の自主性を大切にする視点と決まりを守る態度の育成の双方を考慮しながら検討を進める。 | ・個別の相談への対応とともに、生徒会を中心に意見箱を設置して要望等を集約した。保護者アンケートによる意見を含めて、令和７年度の制服改定に合わせて、次年度中に方向性をまとめる。 | 70％ |
| ・非常時の対応に関する訓練の充実 | ・災害伝言ダイヤルやメール配信を利用した訓練及び情報発信を行う。・避難訓練の際に、避難経路の封鎖やけが人の発生などを想定した訓練を行う。 | ・実際に災害伝言ダイヤルを使用する状況を想定し、訓練方法を検討する。・実際の状況を想定し、有事に対応できるような訓練を検討する。 | ・災害伝言ダイヤルの利用体験を全６回実施し、様々な場面で録音や再生ができるように、利用方法の紙を生徒手帳に入れられるサイズに改めた。・避難経路を封鎖したり、休憩時間に開始したりすることで、実際の状況を想定した訓練が実施できた。今後も負傷者の発生など、様々な訓練を継続する。 | 90％ |
| 進路指導部 | ・職業生活に必要となる力の再確認と育成 | ・職員への情報発信を頻回に行い、企業から求められる事柄を学校生活の目標と関連付けられるようにする。・各校務や主任と連携し、進路先から期待される生徒像の育成に必要な支援・指導の在り方を検討する。 | ・企業や就労関係機関等の担当者との対話を通して、業種に応じた求められる力についての傾向をまとめる。・企業から求められる力と校内の取組とのつながりを検証し、これまでの取組の妥当性や課題を確認して改善に繋げられるようにする． | ・企業や就業・生活支援センターの対応事例を職員に伝え、就労後の課題を想定した支援ができるように促した。・職業の単元や指導内容等の改善が図れるように、担当職員に向けてアンケートを実施した。指導内容の精選や指導時期などの意見が出ており、今後の取組に反映していきたい。 | 80％ |
|